

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	910A	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.049	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：910A

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

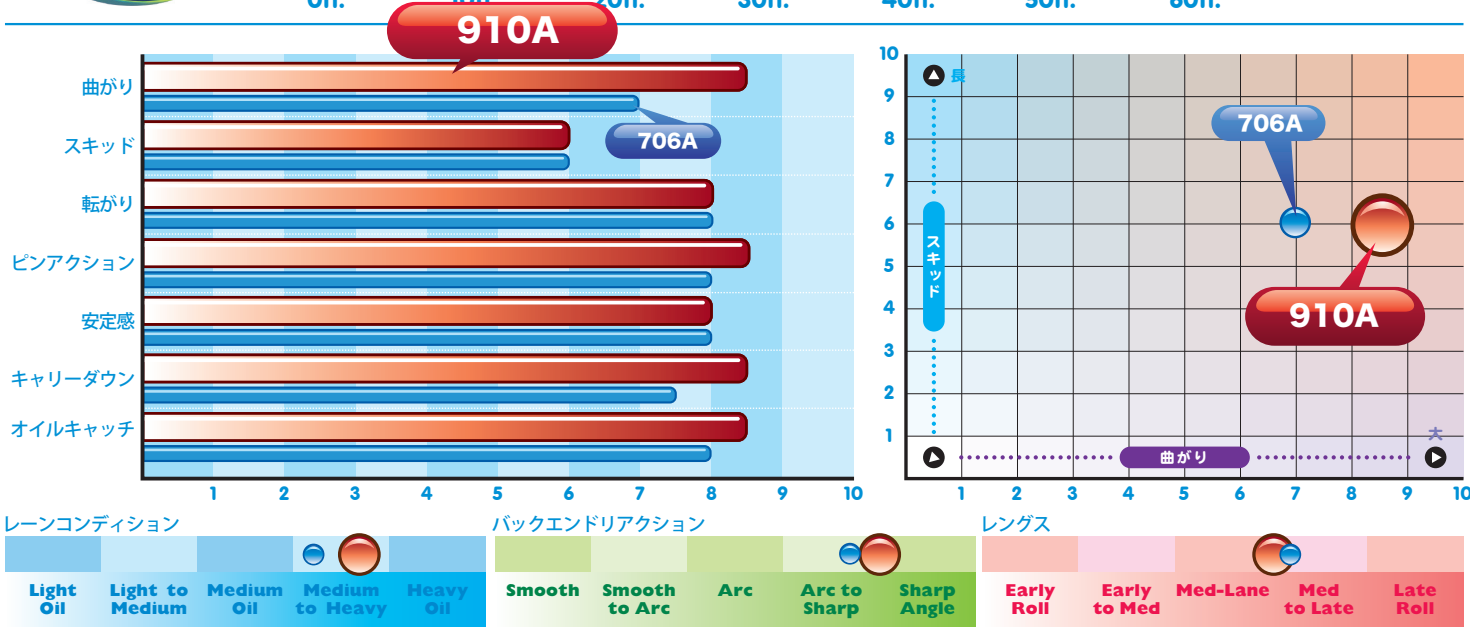
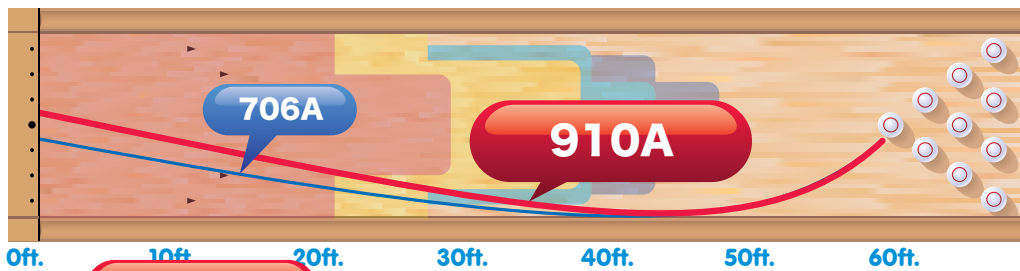
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：706A

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



ボールの評価

ナンバーシリーズで”9”という高い性能と”A”(Angular)な特性を兼ね備えようとした時、TRACK社は今までにはないパフォーマンスをこの910Aで表そうと考えました。

TRACK社で始めて搭載される”GEN XA”(Extreme Angle)カバーストックは「スキッドを重視しながらオイルキャッチを高める」、バックエンドを重視する為には必要不可欠なカバーストック領域で、今回新開発された”Face Core”の特性でもある手前から転がり易い低RGからはイメージ出来難いほど、先での強い攻撃的な摩擦をこの910Aで感じることができるでしょう。

実際投球してみると”9”という最上位のカバーストック特性と”A”(Angular)な性能のコンビネーションとのマッチングの心地よさを感じました。”9”というキャッチを活かし”A”の特性を出すのであれば、バックエンドまでロスする事なくエネルギーを保たなければなりません。特に転がり易い新開発”Face Core”ですから尚更なのですが、配色素材や比率でキャッチを殺さずにスキッドに変換できるベストな組み合わせは、熟知した故の910Aを作るにあたりほぼ完全に近い仕上がりにと思います。

対応コンディションはミディアム～オイリーまでをカバーし、特に中目のオイルが多く、外に向けて戻すラインには抜群の運動性を誇ります。ピンアクションはやや硬めには感じますが、低く押すように倒れますので気にはならないでしょう。

またスピードと回転力を考慮し、反応の前後の為の表面加工を施すことを忘れてはいけません。私の場合は箱出しよりもほんの少し光沢を消すだけで、先での動きを殺さずにスキッドと動きのバランスがさらに良くなりました。

投球して表面のバランス調整も視野にいれてお考えください。

特記事項

TRACKで初めてのGEN XA(Extreme Angle)カバーストックと新開発Face Coreとの組み合わせ。 ”9”カバーと”A”の性能の鋭さを体感ください。